

経営比較分析表

神奈川県 開成町

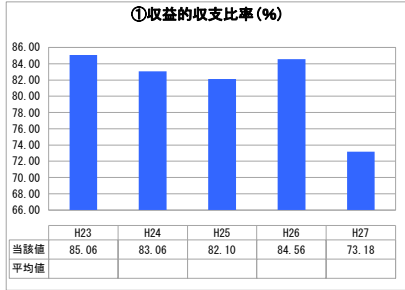
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cb2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	75.16	95.22	1,654

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
17,001	6.55	2,595.57
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
12,834	2.45	5,238.37

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

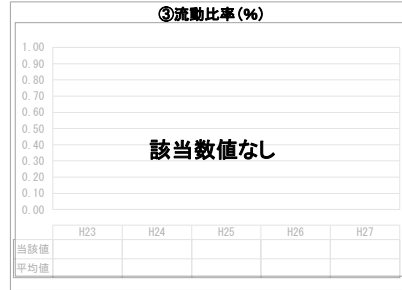
1. 経営の健全性・効率性



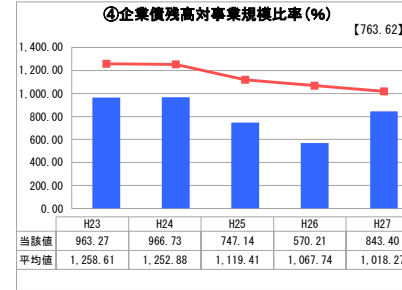
「単年度の収支」



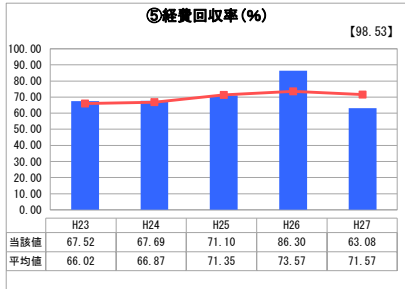
「累積欠損」



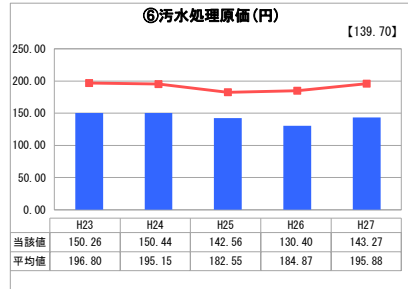
「支払能力」



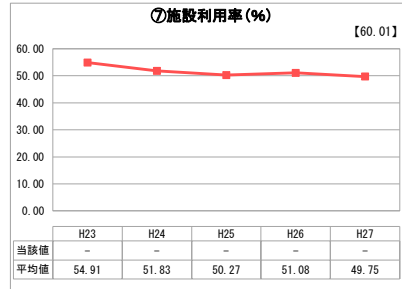
「債務残高」



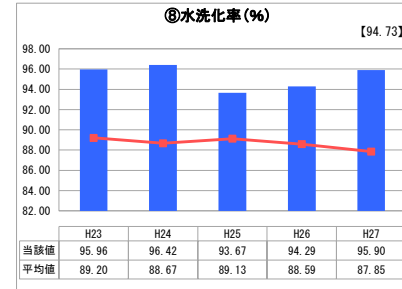
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

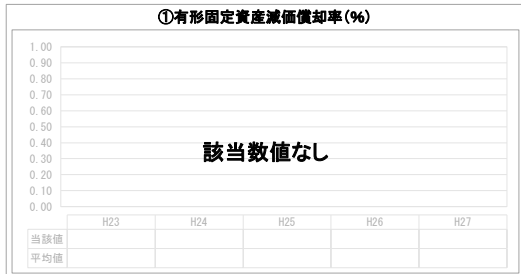


「施設の効率性」

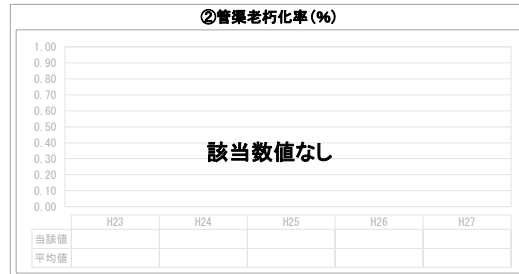


「使用料対象の捕捉」

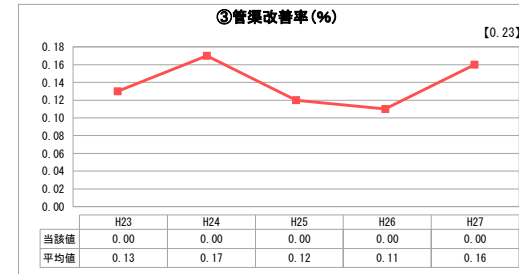
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率が前年度84.56%と比較し、73.18%と下回る経営の悪化により、経営改善に向けた取り組みが必要です。平成26年度に使用料金の改定を行い、一時的に経費回収率が改善されたが、当該年度においては経費回収率の低下などから、健全な経営状態にありません。料金水準の適切性を判断するため、下水道運営審議会等で検討します。また、企業債残高対事業規模比率は類似団体に比べ低い水準である。事業費の平準化、経営の安定化を図るため企業債利用の見直しについて検討します。

2. 老朽化の状況について

管路更新率は0%であるが、耐用年数に達していないため、管路更新は行っていません。管路調査は毎年実施しています。

全体総括

現状では施設の老朽化に伴う管路更新は行っていませんが、将来、維持管理費の増加が見込まれることや経営改善に向けて、定期的な使用料金の見直し検討を行う必要があります。また、下水道事業の経営安定化を図るため、資本費平準化債の利用について、検討します。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。